

# 2019年3月期 決算説明会

2019年5月28日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## 本日の内容

---

### 【第一部】

1. 2019年3月期 決算概要
2. 2020年3月期 業績予想

### 【第二部】

3. 2020年3月期の取組み

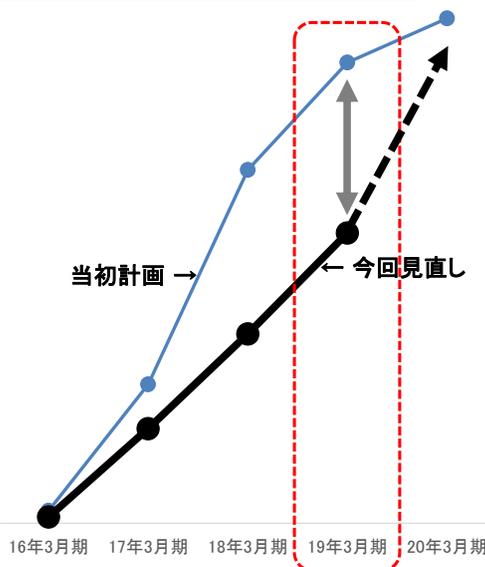
# 1. 2019年3月期 決算概要

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■ 2019年3月期 決算概要

## はじめに～2019年3月期の大幅減益について

ベトナム工場売上推移(イメージ)



■ 前期純利益大幅減益  
2018年3月期:17億円  
→ 2019年3月期:9億円

■ ベトナム工場減損  
生産体制確立遅れ  
市況悪化

■ 「VC2020」  
基本スタンス不変

### ■ 2019年3月期の大幅減益の理由であるベトナム工場の減損に関する説明

■ ベトナム工場については、2021年3月期を最終年度とする5か年の中期経営計画「バリュークリエイション2020」(以下、「VC2020」)の中核的施策として、

2016年10月の生産開始以来、

・2017年3月期からの第1フェーズ(半製品生産)

・2020年3月期からの第2フェーズ(完成品生産)

と段階的に進めてきており、現在は2019年3月より開始した第2フェーズにある

しかしながら、当初の想定に対し、

・人材定着や習熟度向上に時間を要し、第1フェーズの生産体制確立が遅れたこと

・日中での市場状況の悪化による受注量(生産量)の減少が今後も見込まれること

等の要因から、2019年3月期に減損損失等を計上

■ しかし、ベトナム工場が当社グループのグローバル戦略における重要な布石という位置付けや、中期経営計画「VC2020」の中核的施策であることに変更はない

引き続き、第2フェーズ(完成品生産)を着実に軌道に乗せていく

## 2019年3月期 決算ハイライト

日本・海外ともに米中貿易摩擦の影響等から減収減益。

売上	連結	連結売上高は、前期比99.8%、89百万円減の409億円。
	日本	前期比97.8%の167億円。 自動車関連と電子部品・半導体関連の伸長率が鈍化。
	中国	前期比99.0%の198億円。 戦略製品は伸長したが、自動車関連等が第3四半期に入ってから減速。
	その他	前期比113.0%の42億円。 引き続き、欧州を中心として好調に推移。
利益		営業利益は前期比90.7%の25.7億円。 経常利益は前期比93.2%の25.4億円。 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比53.7%の9.6億円。
ネット資金		ベトナム工場への投資等により、期首から9.3億円減少。

### ■ 2019年3月期の決算ハイライト

#### ■ 日本・海外ともに米中貿易摩擦の影響等から減収減益

- ① 日本: 自動車関連と電子部品・半導体関連の伸長率鈍化で前年割れ
- ② 中国: 第3四半期から自動車関連と電子部品・半導体関連が急変、前年並み
- ③ その他: 欧米を中心に前期を上回る

#### ■ 利益面は、国内売上減要因が大きく減益につながった

## 損益計算書サマリー

(単位:百万円)

	2018年3月期 (実績)		2019年3月期			
			修正予想 (2019/4/12公表)	実績	前期差 (前期比)	修正予想差 (修正予想比)
売上高	41,025		40,900	40,935	▲89 (99.8%)	35 (100.1%)
営業利益	6.9%	2,843	6.2% 2,550	6.3% 2,578	▲264 (90.7%)	28 (101.1%)
経常利益	6.7%	2,731	6.1% 2,500	6.2% 2,547	▲184 (93.2%)	47 (101.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.4%	1,788	2.4% 1,000	2.3% 960	▲828 (53.7%)	▲39 (96.0%)

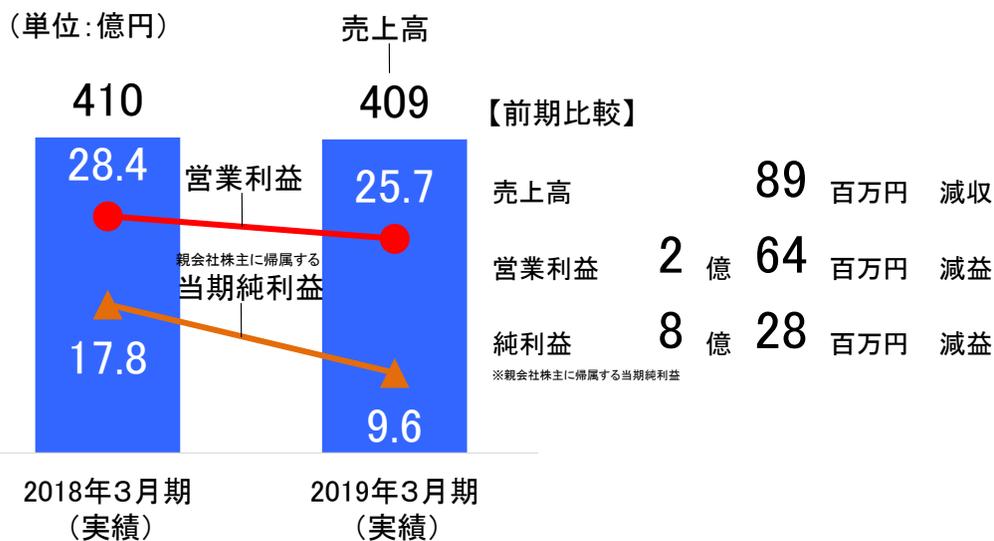
### ■決算数値の概要

■売上高は409億35百万円で、前期比99.8%、89百万円の減収  
 営業利益は25億78百万円、  
 経常利益は25億47百万円、  
 当期利益は9億60百万円

※当期利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益

## 売上高と営業利益の推移

米中貿易摩擦の影響等から減収減益。



■ 2018年3月期と2019年3月期の売上・利益比較

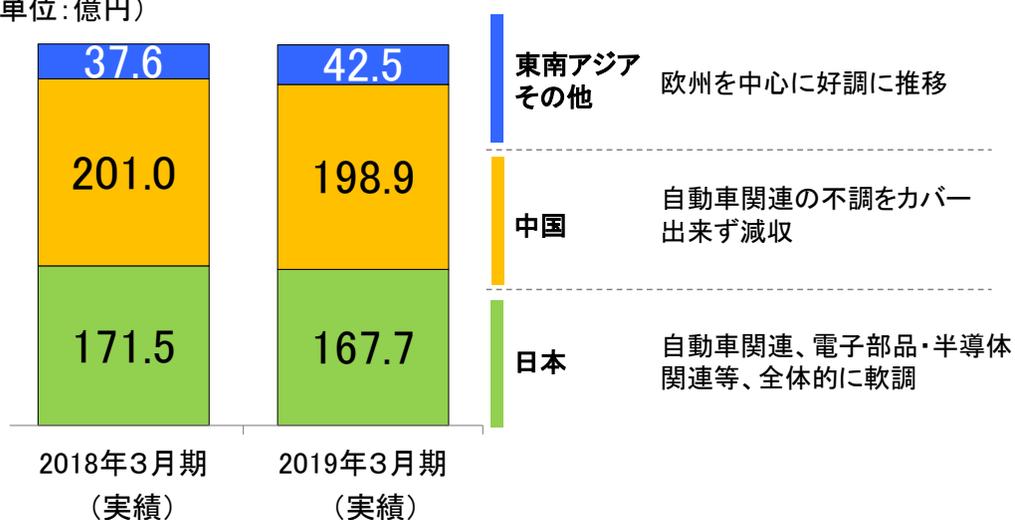
■ 深刻化する米中貿易問題は、依然として先行き不透明

※ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 地域別売上高

東南アジア・その他地域は増収を達成。

(単位:億円)



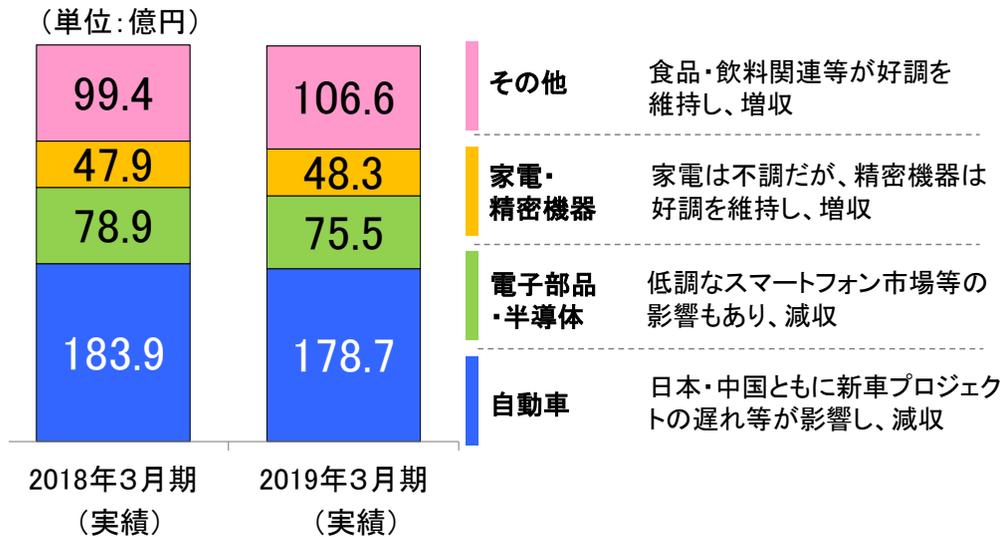
### ■地域別の売上高

- ①日本:自動車関連、電子部品・半導体関連等、全体的に軟調
- ②中国:自動車関連の不調をカバー出来ず減収
- ③その他:欧州を中心に好調に推移

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 業種別売上高

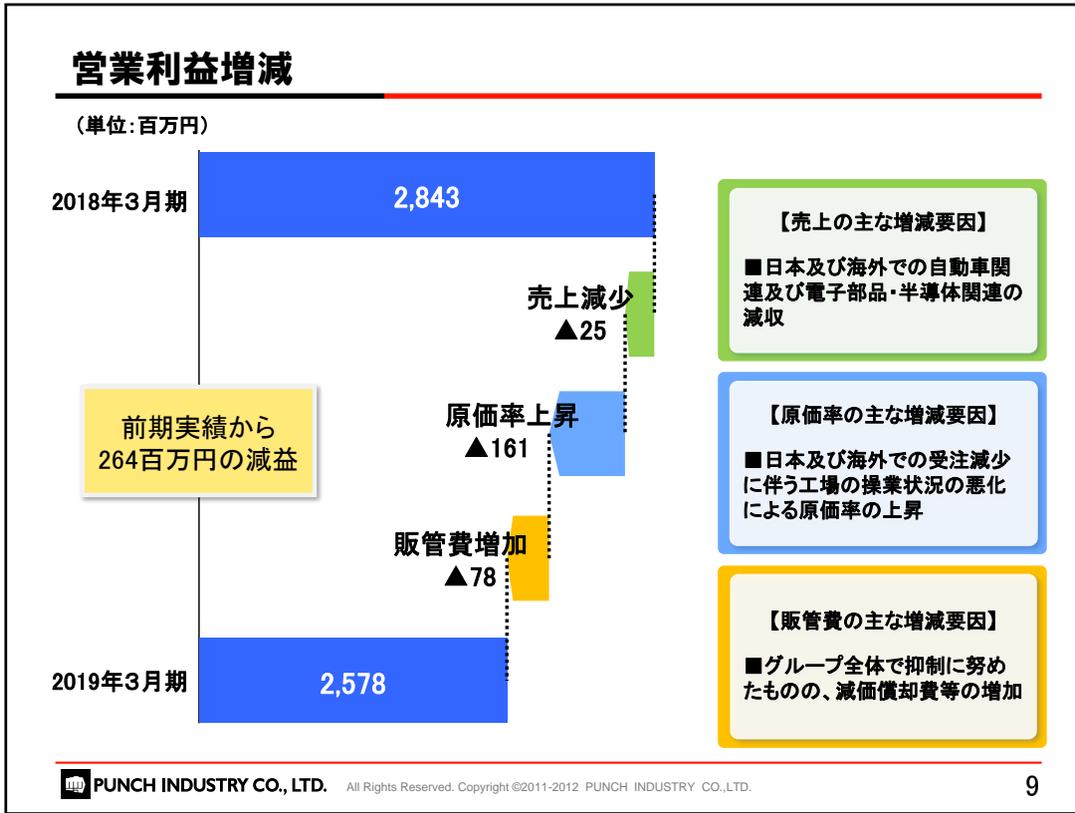
その他が好調を維持。



### ■業種別の売上高

- ①自動車: 日本・中国ともに新車プロジェクトの遅れ等が影響し、減収
- ②電子部品・半導体: 低調なスマートフォン市場等の影響もあり、減収
- ③家電・精密機器: 家電は不調だが、精密機器は好調を維持し、増収
- ④その他: 食品・飲料関連等が好調を維持し、増収

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載



■ 営業利益の増減分析

■ 前年同期実績の28億43百万円から、  
売上減少の影響により25百万円の利益減

また、受注減少に伴う全般的な工場の操業状況の悪化による原価率の上昇により1億61百万円、減価償却費等の増加による販管費の増加で78百万円の利益減

■ 結果、2019年3月期の実績としては、25億78百万円となり、前期に対し、  
2億64百万円の減益

## 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2018年3月期末	2019年3月期末	比較増減
総資産	32,560	31,155	▲1,405
総負債	16,385	15,420	▲965
うち有利子負債	6,332	7,079	747
純資産	16,174	15,734	▲440
ネット資金	▲2,561	▲3,499	▲938
自己資本比率	49.6%	50.4%	0.8pt
自己資本利益率(ROE)	11.8%	6.0%	▲5.8pt
設備投資額(無形固定資産含む)	2,776	2,989	213
減価償却費(無形固定資産含む)	1,597	1,729	132

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

10

### ■ 貸借対照表サマリー

#### ■ 総資産は311億55百万円、総負債は154億20百万円

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、157億34百万円

#### ■ 自己資本比率は、前期末より0.8pt上がり、50.4%、

#### ■ ROEは、減損損失の影響により、前期末より5.8pt下がり、6.0%

#### ■ 設備投資額は、29億89百万円

## キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,393	3,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,335	▲3,253
フリーキャッシュ・フロー	1,058	▲68
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲738	74
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	419	▲172
現金及び現金同等物の期末残高	3,689	3,516

### ■キャッシュフローの状況

#### ■営業CFは31億85百万円の収入

一方、単体やベトナム、中国での固定資産取得により、投資CFは32億53百万円の支出となり、フリーキャッシュフローは68百万円のマイナス

## 2. 2020年3月期 業績予想

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

### ■ 2020年3月期 業績予想

## 2020年3月期 業績予想概況

2019年3月期に引き続き、不透明感のある市場状況であり、減収減益を予想。

売上	連結	ベトナム工場 第2フェーズを推進、欧米での販売体制強化等、体質強化や構造改革を推進し、前期比97.7%の400億円を見込む。
	日本	重点的に取引を強化するお客様と新規取引を狙うお客様を設定し、前期比97.5%の163億円を見込む。
	中国	非自動車業界向け売上比率の拡大を目指し、新規製品・新規工法の開発を行うことで高付加価値製品を拡販し、前期比96.4%の191億円を見込む。
	その他	米国・東南アジア・インドでの事業拡大及び欧州での販路拡大を行うが、米中貿易摩擦の影響等もあり、前期比104.7%の44億円を見込む。
利益		ベトナム工場の事業体制は身軽となったものの、大きなウエイトを占める中国事業の減収見込みもあり、営業利益は20億円、当期純利益は14億円を見込む。

■ 2020年3月期は前期より不透明感の続く市場状況であることも踏まえ、現在の市況継続を大前提

■ 日中での「守り」と、日中以外(欧米)での「攻め」を意識

■ 利益面では、ベトナム工場の事業は減価償却費の低減などで身軽となったものの、大きなウエイトを占める中国事業の減収見込みもあり、営業利益は20億円、当期純利益は14億円を見込む

## 2020年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2019年3月期 (実績)		2020年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高		40,935		40,000	▲935	97.7%
営業利益	6.3%	2,578	5.0%	2,000	▲578	77.6%
経常利益	6.2%	2,547	4.8%	1,900	▲647	74.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.3%	960	3.5%	1,400	439	145.8%
自己資本利益率 (ROE)		6.0%		8.5%	2.5pt	

2020年3月期  
配当予想

16円80銭 = 中間 8円40銭 + 期末 8円40銭

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

14

### ■ 2020年3月期の業績及び配当の予想

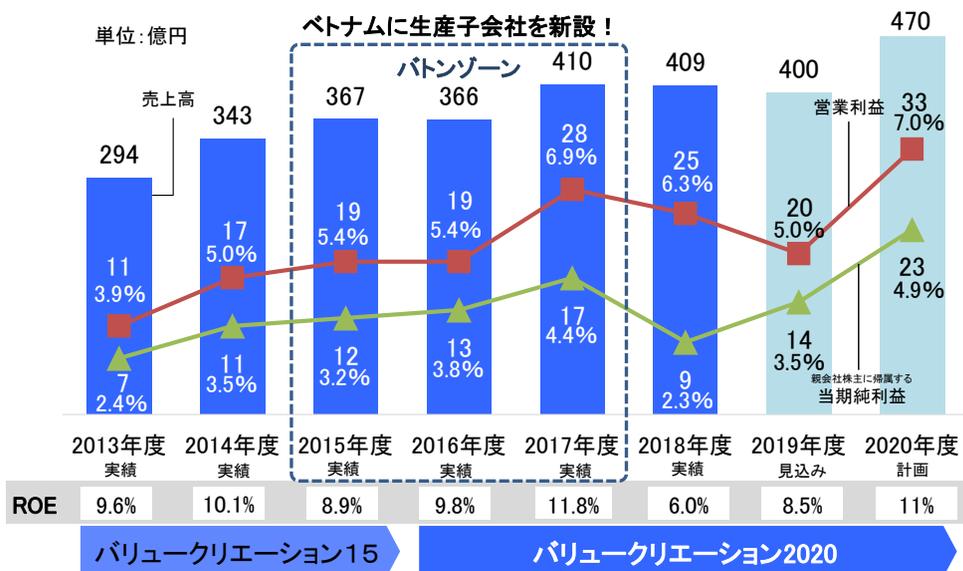
■ 売上400億円、営業利益20億円、経常利益19億円、当期純利益14億円を見込む

■ 2019年3月から完成品生産を開始したベトナム工場は生産体制を早期に固め、安定的経営の実現が目標

■ 配当については、昨年よりも5銭増配の年間16円80銭を予定  
内訳は、中間・期末配当ともに8円40銭ずつ

## 経営目標 売上・利益の推移

2020年度 売上高470億円以上 営業利益33億円以上 当期純利益23億円以上



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

15

### ■VC2020の基本戦略、考え方は変わらず

- ・ベトナム工場をしっかりと立ちあげる → 巡航ベース軌道に乗せる
- ・欧米での販売体制を整備、強化する → 販売5極体制を確立する

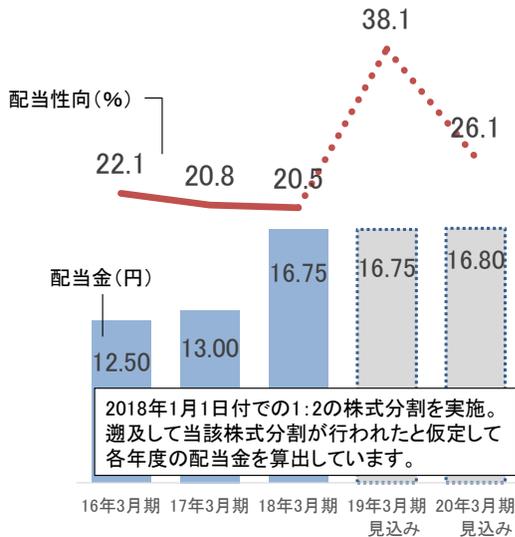
### ■考慮すべきポイント

- ①ベトナム工場 → バトンゾーンが2019年度までズレル
- ②米中貿易問題 → 世界的市況悪化の可能性
- ③為替 → 人民元安による売上への影響

## 1株当たり配当金と配当性向

### 【配当方針】

安定かつ継続的な配当に加え、業績連動により連結配当性向20%以上を目安としており、増配基調を維持しつつ、段階的に引き上げることが目標。



継続的企業価値向上の基盤は、株主の皆様からの「信頼」と「応援」であり、「期待」にお応えすることが経営上の重要課題。

2020年3月期の配当  
中間・期末ともに8円40銭  
=16円80銭予定(5銭増配)

## ■ 1株当たり配当金と配当性向

### ■ 当社グループのステージ

- ・上場を期に、「世界のパンチ」を目指して新たなスタートを切った会社
- ・成長に向け、R&D投資、IT投資等も含めた戦略投資も必要なステージにある会社

### ■ 配当方針

- ・安定配当を基本
- ・内部留保と還元のバランス
- ・業績連動(配当性向)

## さいごに～今年度の取組みについて

ベトナム工場

国内事業

中国事業

販売5極体制

次の中長期経営計画に向けて

### ■ 2020年3月期 取組み概要

#### ■ 四つの取組み

- ①ベトナム工場の第2フェーズを巡航軌道に乗せること
- ②これに同期させた国内生産体制の再編 → 国内事業強化
- ③中国事業
- ④販売5極体制 → 欧米事業強化

#### ■ 次期成長戦略については、2019～2020年度で社内議論を実施

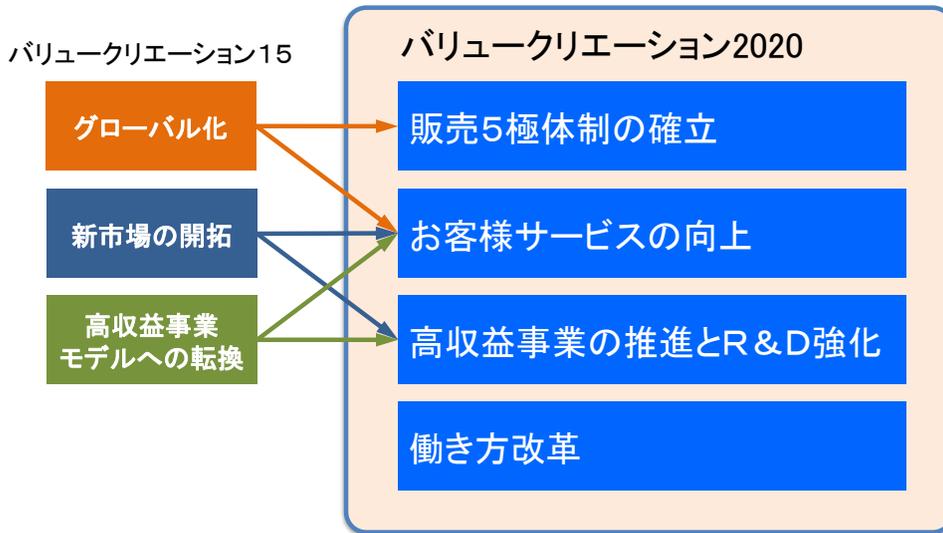


### 3. 2020年3月期の取組み

---

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## 連動する「バリュークリエーション」の重点経営課題



### ■VC2020の中で取組んでいる重点経営課題

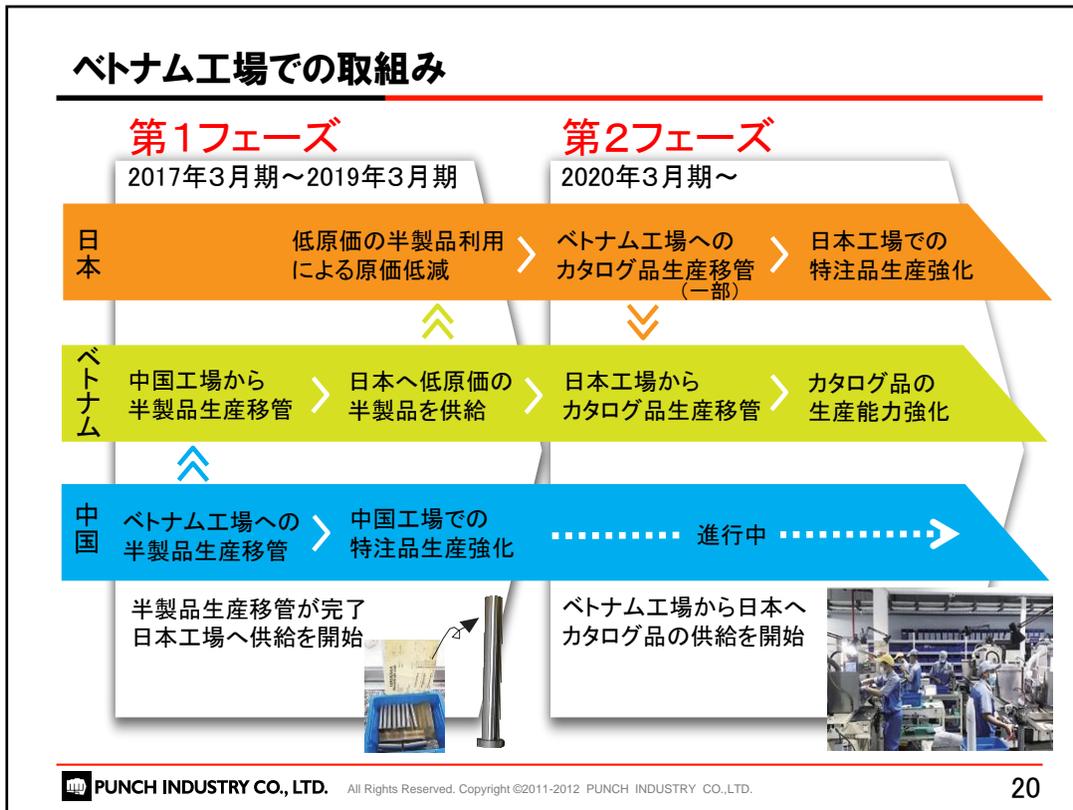
■2015年度(2016年3月期)に終了した「VC15」の経営課題は、「グローバル化」「新市場の開拓」「高収益事業モデルへの転換」の3点

■2016年度(2017年3月期)からスタートした5カ年計画「VC2020」では、「VC15」の3つの経営課題は引き継ぎながら、

- 販売5極体制確立(5極=日本、中国、東南アジア・インド、欧州、米州)
- お客様サービスの向上
- 高収益事業の推進とそのためのR&D強化
- 働き方改革

という4つの重点経営課題を掲げている

■以上が、「VC2020」の骨子であり、これらの取組みをベースに狙っていくのは、これまでも掲げている「世界のパンチ」を目指すということ



### ■ベトナム工場での取組み

#### ■「VC2020」の5年間における取組みは、2つのフェーズ構成

- ▼2016～2018年度までの「投資による助走期間」を第1フェーズ
- ▼2019～2020年度の「グループ新生産体制の本格稼働」を第2フェーズ

■第1フェーズである「投資による助走期間」は、ベトナム工場立上げと、それに伴う中国からベトナムへの半製品(ブランク材)の生産移管であり、この第1フェーズにおいて人材の定着や習熟度の向上に時間を要した

■2019年3月から完成品であるカタログ品の一部を日本から段階的に移管生産する第2フェーズがスタートしており、着実に軌道に乗せたい

■ベトナム工場への生産移管により、国内工場はさらに特注品生産を強化し、パンチグループ全体としての生産体制の最適化を進めることで、コスト低減とリスク分散による、高収益化の実現を目指す

■当社グループとしての狙いは、このベトナム工場を起点としたグループ生産拠点(12工場)の最適化と特注品生産ドライブであり、これにより高収益化を狙っていく

■第1フェーズでは人員の確保や教育等で苦戦したが、第2フェーズは3月～7月まで段階的にアイテムを増やし、3月～5月まで計画通りに移管が進んでいる

## 国内での取組み



■2019年2月より北上第三工場が稼働



高収益事業の推進へ向け、新たな価値を創造する「**開発本部**」を新設

- ・新規事業の育成を推進
- ・既存製品の工法改善と原価低減
- ・新たな加工技術、表面処理の開発 等



## 国内生産の強化

高付加価値生産+特注品シフト加速



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

21

### ■国内での取組み

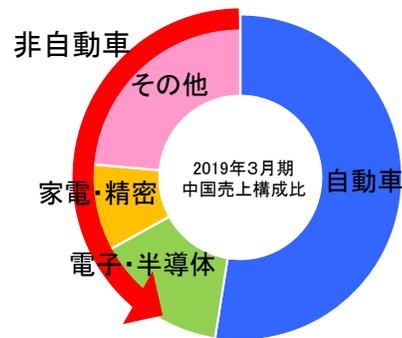
■日本国内市場での受注増を目的として、工場からの同行営業や戦略製品を決めたチーム体制、大阪支店と京都支店の統合による関西支店の設立など、営業体制の強化に継続して取組む

■日本における特注品の生産技術向上などを図るため、2019年4月に立ち上げた開発本部の役割は、新規事業の育成を推進、既存製品の工法改善と原価低減、新たな加工技術、表面処理の開発等

■加えて、ベトナムへのカタログ品の一部移管を行い、日本での高付加価値製品の割合を増やし売上の中身を変える

■コスト力勝負になるカタログ品はベトナム工場生産し、技術力勝負になる特注品は日本と中国で生産するというグループ内の生産体制再編に向けての取組みを加速させる

## 中国での取組み



- 非自動車業界向け売上比率拡大
- 戦略製品の販売拡大  
⇒ 製罐製品の再拡販
- 開発本部強化  
⇒ 新規製品・新規工法の開発

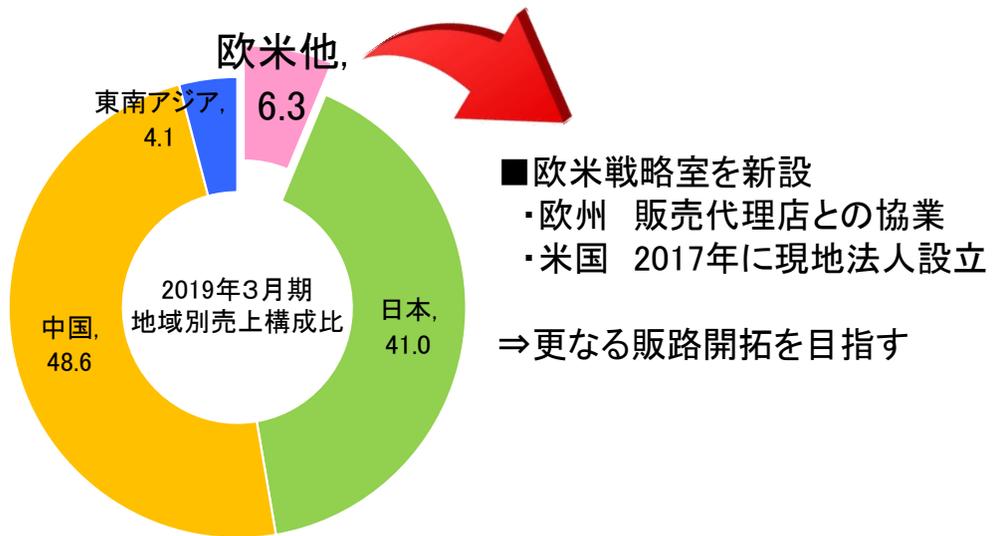
### ■ 中国の取組み

■ 2018年に増床が完了した大連工場は、戦略製品のライン新設、研究開発スペースの拡張、そして将来のさらなる設備増強に向けたスペースの確保を行い、世界最大の金型市場である中国におけるトップポジションの維持及び更なる成長の為、特注品生産の強化と生産能力の拡大という質・量の両面から対応する

■ 生産面では日本同様、食品・飲料関連の設備も増強し、研究開発面ではEV関連等にも取組み、以前より進めている高付加価値戦略製品の受注強化も併せ、非自動車業界向け売上の拡大に向けて取組む

■ 当社グループの生産体制の最適化、それに伴う特注品受注強化に向けた取組みにも同期させ、「高収益事業の推進とR&D強化」を具体的に推進し、グループ連結業績への貢献も高めていく

## 販売5極体制の確立



### ■ 販売5極体制の確立

### ■ アジア以外の強化を狙い、今期より欧米戦略室を新設

### ■ 米国では2017年に現地法人を設立して丸2年が経ち、販路拡大等に注力中

■ 欧州に関しては、販売代理店との協業強化や当社グループ各社の精力的な活動を通じて実績も上がってきているが、今後さらに売上を伸ばしていくためには、当社グループが一体となり、一つの戦略の下に連携を強化していくことが必要

### ■ 欧米戦略室ではこれらの課題に対し、具体的な取組みを企画・推進する

## 2020年3月期以降の取組み

心算やぶれ!!



パンチスピリット

■ 販売5極体制  
⇒ 欧米販路の拡大

■ お客様サービスの向上  
⇒ 飲料・医療関連の技術向上

■ 高収益事業の推進とR&D強化  
⇒ ベトナム工場 第2フェーズ推進

■ 働き方改革  
⇒ 新人事制度運用、生産性改革

### ■ 今期と来期の取組み

#### ■ VC2020のラスト2年間は、

- ① 欧米販路の拡大
- ② 飲料・医療関連の加工技術向上
- ③ ベトナム工場の第2フェーズ推進
- ④ 社員の意識改革や生産性向上、新人事制度運用などの働き方改革を推進する

■ 依然として不透明感のある市場状況は続くが、高付加価値を生み出す「ものづくり」の推進に、パンチグループ全員一丸となって、全力を尽くす

◇ 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

#### ◆ 決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

#### ◆ 決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

#### ◆ IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2019/>

# 参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,282名(グループ連結、2019年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

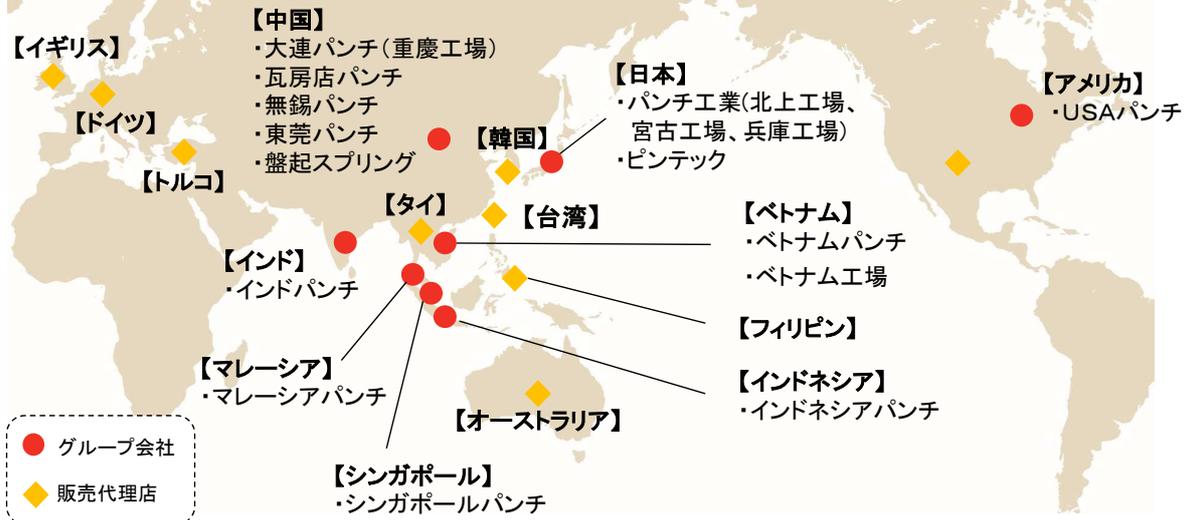
# パンチグループのネットワーク

## 生産拠点数

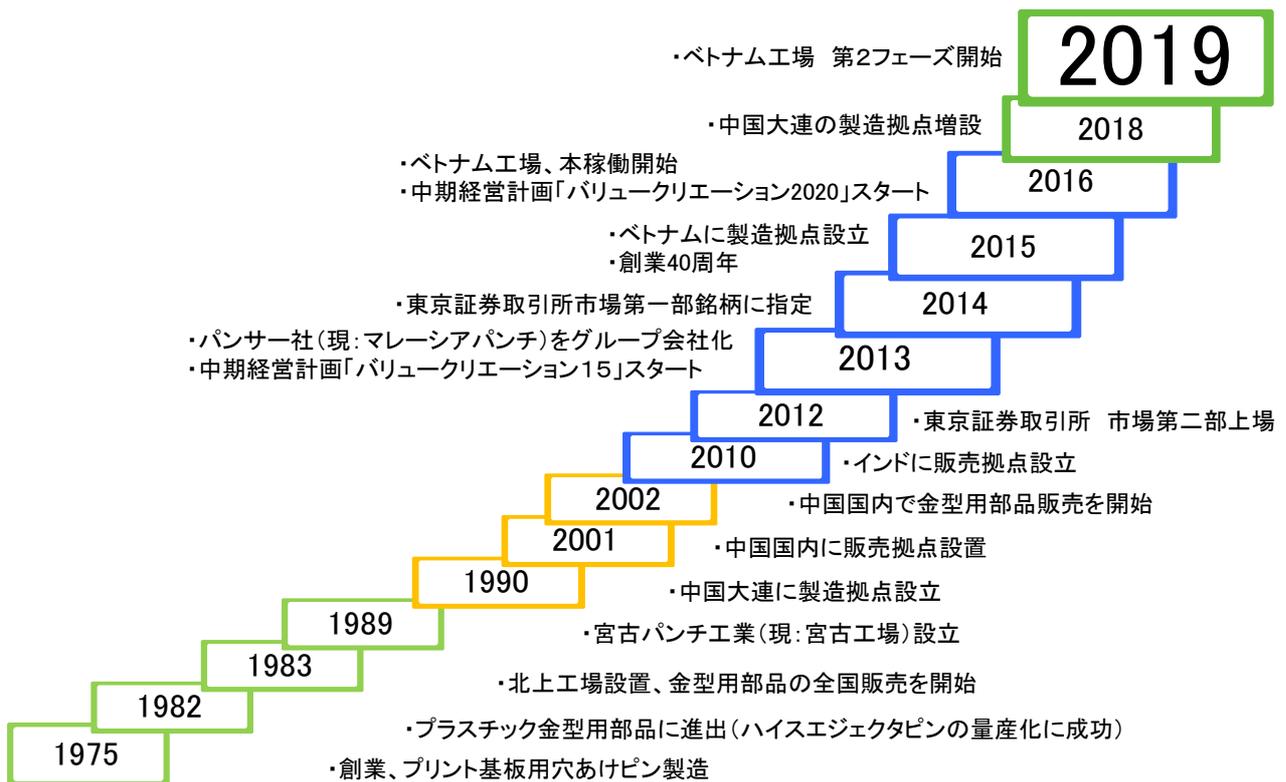
日本	海外
4	8
カ所	カ所

## 販売拠点数

日本	海外
12	40
カ所	カ所

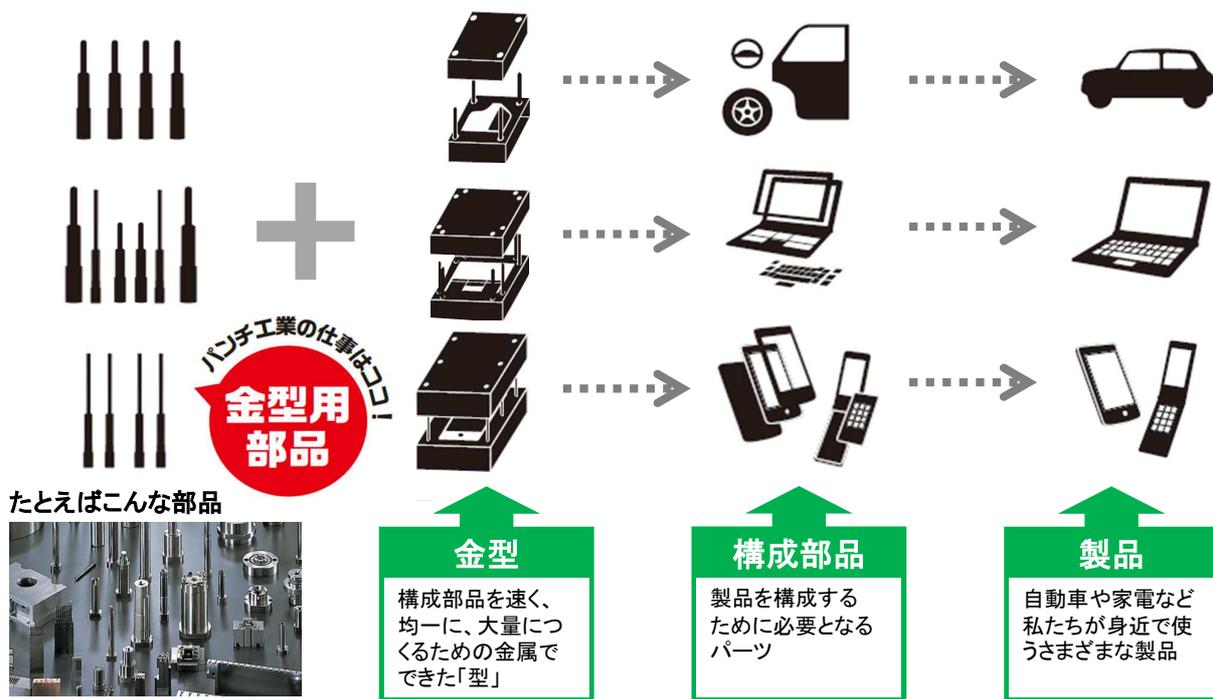


# 沿革

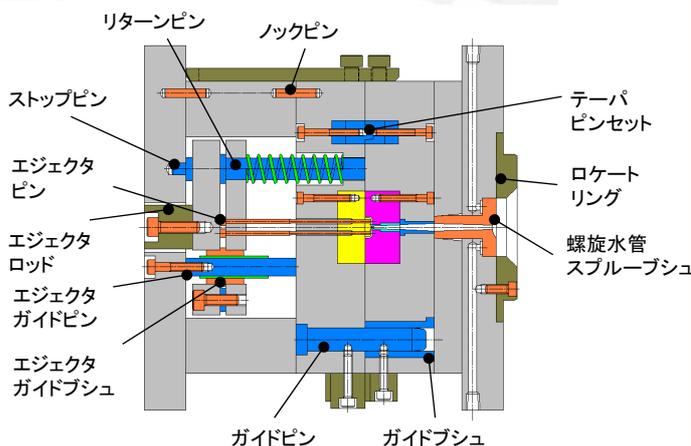
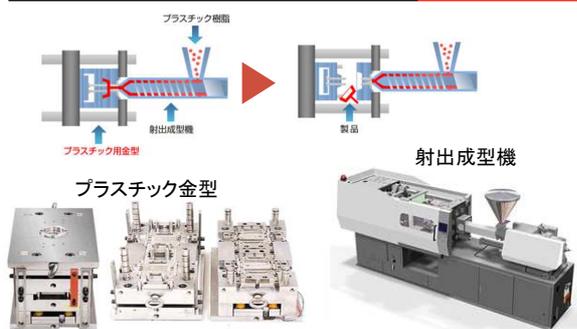


# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



# プラスチック金型と金型用部品



## ●プラスチック金型用部品について

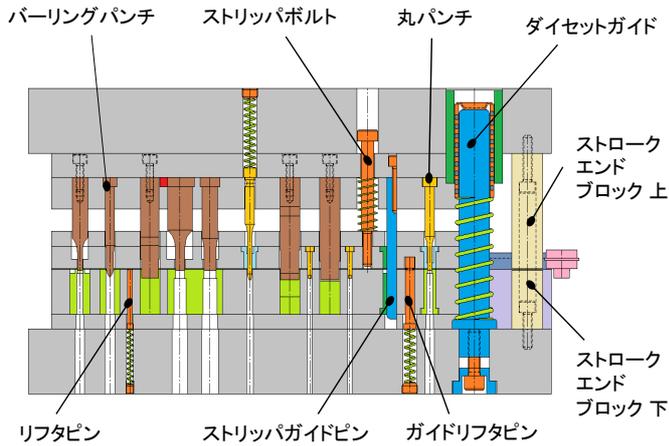
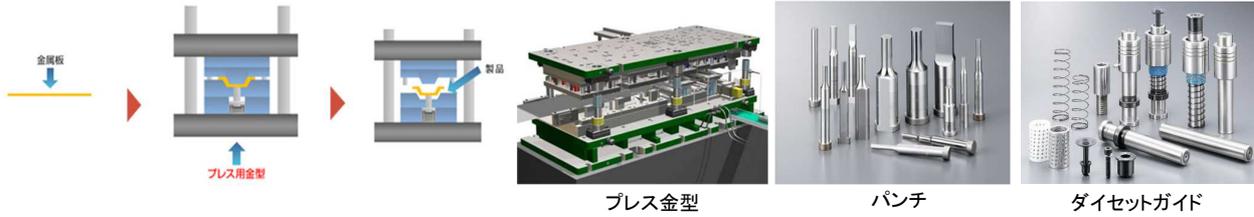
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエJECTAピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エJECTAピン...** 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ...** 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

# プレス金型と金型用部品



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ**..... パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド**... 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

# パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



**カタログ品**

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディーなソリューション



**特注品**

カスタムニーズにも柔軟に対応

一気通貫の生産体制

2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

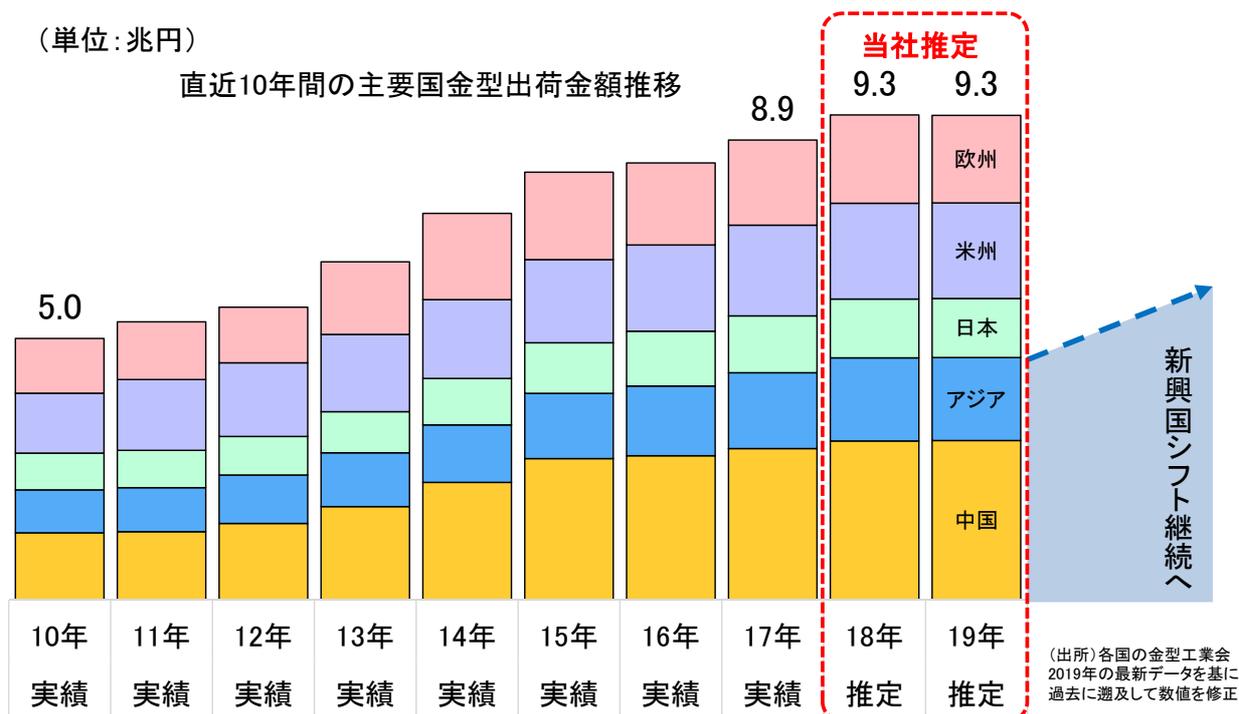
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

# 金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に右肩上がりの金型市場。

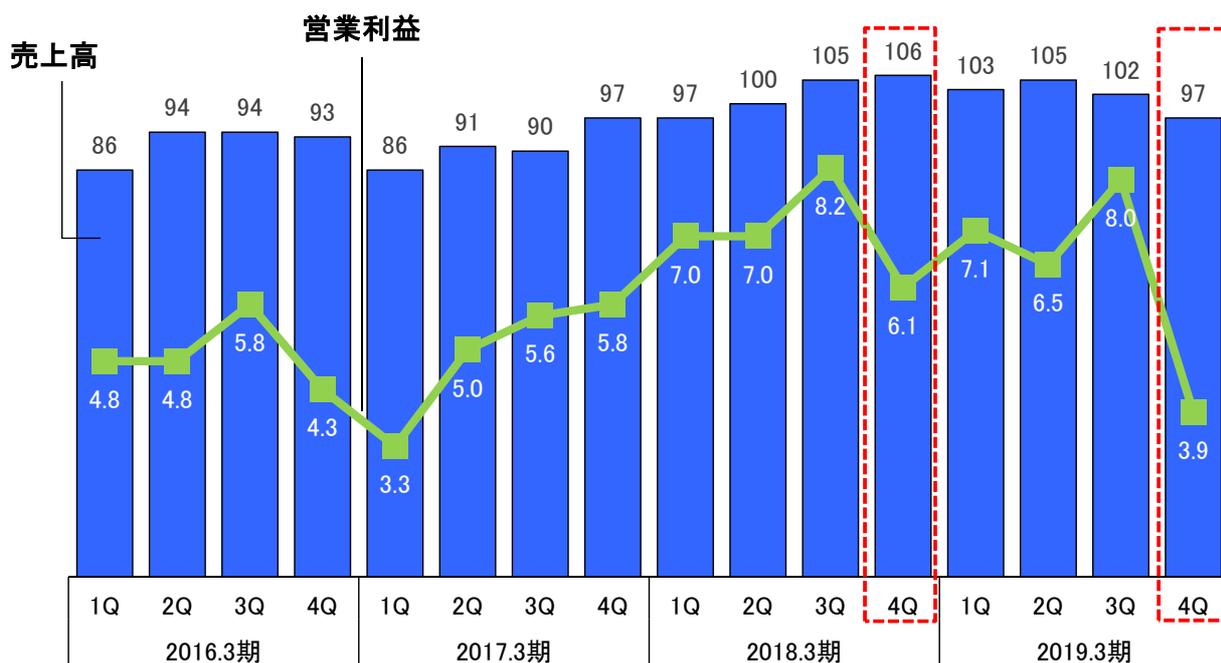
(単位:兆円)

直近10年間の主要国金型出荷金額推移



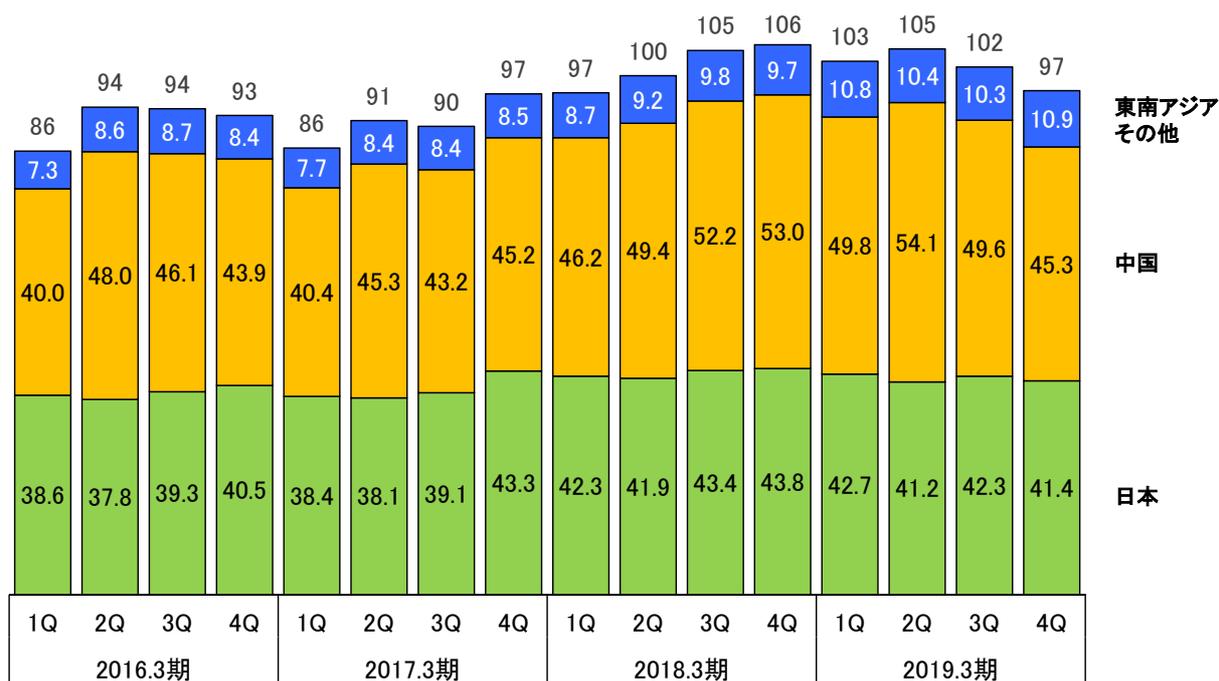
# 売上高と営業利益の推移

(単位:億円)



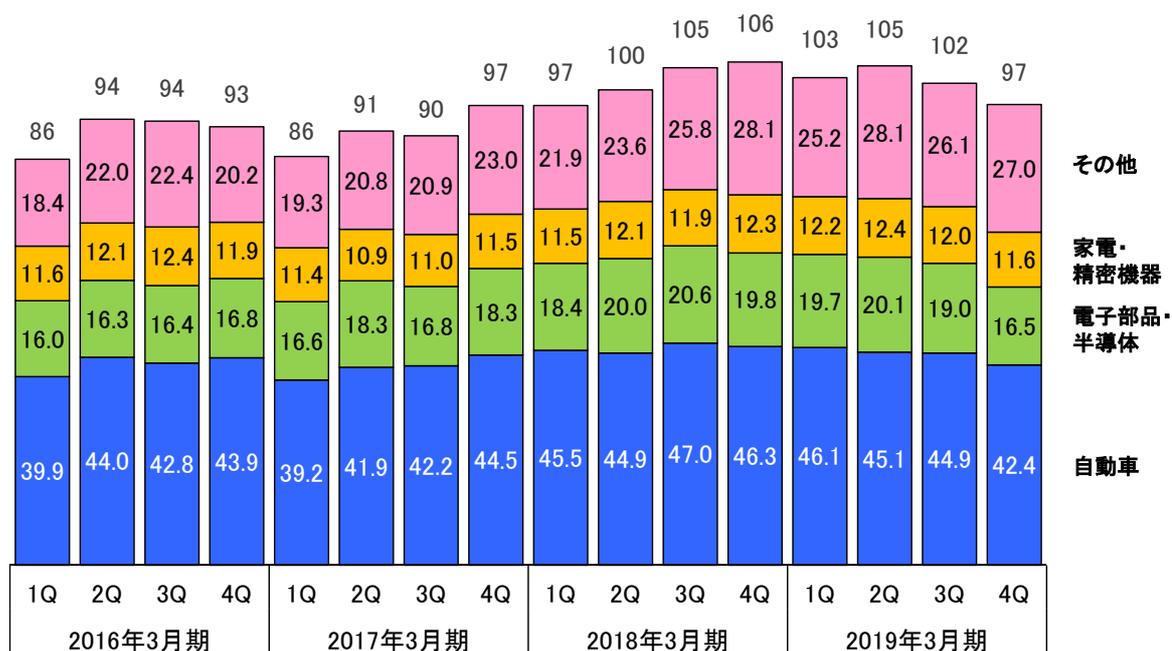
# 地域別売上高

(単位:億円)



# 業種別売上高

(単位:億円)



注) 中国における業種区分修正に伴い、2017年3月期のデータを修正

# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

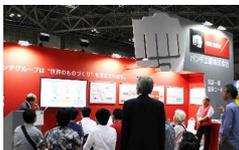
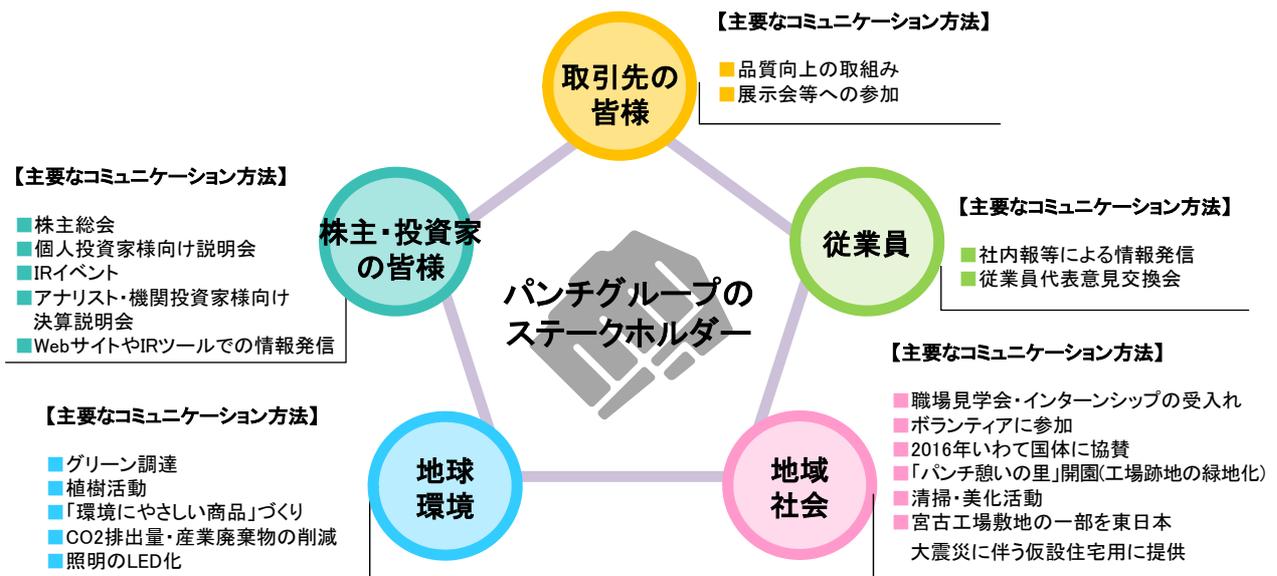
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園  
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動  
(2016年いわて国体)

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail: info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。